

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、  
ご利用いただきたくご案内いたします。  
弊社におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽  
を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど、  
よろしくお願い申し上げます。

敬 白

### 記

#### ■実施日

平成 27 年 4 月 20日 (月) ご依頼分より

#### ■新規項目内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
6524 0 (4G030)	胰グルカゴン	速やかに 冷却遠心  血漿 (採取時 DPP- IVinhibitor加) 0.5	D ↓ X	凍結 (28日)	5~11		ELISA	9.2~44.8 (参考値) (pg/mL)	<span style="color: red;">☒</span> 指定の容器(D)に採血し、30秒以内にDPP-IVinhibitor(血液1.0mLに対し10 $\mu$ L)を加え、混和後速やかに冷却遠心し、血漿分離してただちに凍結保存してください。活性型GLP-1(抽出法)・活性型GIP(抽出法)・活性型GIP(非抽出法)以外との重複依頼は避けてください。

## ● 膵グルカゴン

完全長の膵グルカゴンを特異的に測定する研究検査項目です。

膵グルカゴンは、膵臓のランゲルハンス島の $\alpha$ 細胞から分泌される29のアミノ酸からなるペプチドホルモンで、主に肝臓に作用し、グリコーゲンを分解することで血糖値の上昇を促します。近年、膵グルカゴンの分泌異常は、2型糖尿病における高血糖の一因として注目されており、膵グルカゴンはインスリンとともに生体内の糖代謝調節において、重要な役割を担うと考えられています。

膵グルカゴンは前駆体であるプログルカゴンの分解により生じますが、その過程において、グルカゴン(19-29)やグリセンチン(1-61)といった膵グルカゴンと同様のC末端アミノ酸配列を有するペプチドが産生されています。膵グルカゴン測定については、これらペプチドとの交差性が課題となっていました。

本検査は、膵グルカゴンのN末端領域とC末端領域をそれぞれ認識する2種類の抗体を用いたサンドイッチELISA法により、完全長の膵グルカゴンを特異的に測定いたします。


### ▼ 疾患との関連

● 糖尿病

### ▼ 関連する主な検査項目

● グルコース ● グルカゴン(IRG) ● インスリン

### ▼ 検査要項

検査項目名	膵グルカゴン
項目コードNo.	6524 0
検体量	速やかに冷却遠心 血漿 (採取時 DPP-IVinhibitor加) 0.5 mL
容器	D → X(ポリスピッツ)
保存方法	必ず凍結保存してください
所要日数	5~11 日
検査方法	ELISA
基準値(単位)	9.2~44.8 (参考値) (pg/mL)
検査実施料	未収載
検査判断料	未収載
備考	 指定の容器(D)に採血し、30秒以内にDPP-IVinhibitor(血液1.0mLに対し10 $\mu$ L)を加え、混和後速やかに冷却遠心し、血漿分離してただちに凍結保存してください。活性型GLP-1(抽出法)・活性型GIP(抽出法)・活性型GIP(非抽出法)以外との重複依頼は避けてください。

### ●参考文献

稲垣 貴之, 他: 医学と薬学72(3):491~497. 2015. (検査方法参考文献)  
河邊 顕, 他: 日本臨床 63(増8):493~495. 2005.